

公益社団法人 日本地下水学会
2018年度 事業計画書

日本地下水学会は、2010年8月5日に公益社団法人として以来、定款第3条「地下水に関する研究、技術開発及び普及に関する事業を通じて、地下水資源の保全と有効利用、地下水に関わる諸問題の解決に貢献し、社会の発展に寄与することを目的とする。」に基づき、広く社会の公益に資するための事業を展開すべく活動を行っている。2018年度の事業計画を以下に記す。

本学会における事業は以下のように分類されている。

- 公益事業-1 [公1]：地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業
- 公益事業-2 [公2]：地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業
- 公益事業-3 [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業
- 公益事業-4 [公4]：地下水に関する相談事業
- その他 [他1]：表彰事業
- 共通事業 [共通]：共通事業

それぞれの項目毎に事業計画を記す。

[公1] 地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業

1. 学会誌編集

- ① 会誌第60巻第2号、第3号、第4号、第61巻1号（総ページ数400程度）を発刊する。
- ② 企画委員会、行事委員会と共同で特集号を企画するとともに、特集号および誌面講座についてゲストエディターの再募集を行い、誌面の充実に努める。
- ③ Web投稿・審査システムの運用に基づき、論文の迅速な審査・印刷を進める。

2. 定期講演会の開催

【主催イベント】

- ① (公社)日本地下水学会春季講演会
日時：2018年5月19日(土)
場所：埼玉県 埼玉大学キャンパス 総合研究棟 他
- ② (公社)日本地下水学会秋季講演会
日時：2018年10月25日(木)～27日(土)
場所：愛媛県 松山市立子規記念博物館 講堂 他
- ③ 第24回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会
日時：2018年10月31日(水)～11月1日(木)
場所：福島県 福島県文化センター 他
主催：(公社)日本水環境学会、(公社)日本地下水学会、(公社)地盤工学会、
(社)廃棄物資源循環学会、(社)土壌環境センター

3. 出版事業

地下水に関して書籍を出版すべきテーマと内容を検討し、企画する。

[公2] 地下水に関する講演会、シンポジウム、見学会等を開催する事業

1. 講習会の開催

- ① 地下水シミュレーション（移流分散）講習会
日時：2018年7～8月頃 2日間（予定）
場所：都内
- ② 現場調査（水文調査）講習会

日時：2018年6月頃 2日間（予定）
場所：都内

2. シンポジウム，セミナーの開催

①セミナー「山岳地域の水文地質学 ―世界の水源を供給する地下水の重要な役割―」

日時：2018年5月18日（金）

場所：日本大学文理学部

②地下水ガバナンスに関するシンポジウム

日時：2018年12月～2019年1月頃

場所：未定

3. 見学会の開催

湧水見学会について2018年10月を目途に開催する。

4. 地下水に関する出前講演

HP上に設置した地下水に関する出前講演受付窓口より、地下水に関する出前講演を受け付け、必要に応じて実施する。

[公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発，研究等を行う事業

1. 研究グループ活動

- ① 「学会誌・地域データベース」の充実をはかり、各地域の調査・研究グループの活動について検討する。また、「地下水に関する専門家データベース」の構築について検討する。
- ② 「熊本地震対応調査・研究グループ」の活動に取り組み、国内外の学会においてセッションを設け、途中経過を公表する（JpGUおよびIAH）。
- ③ 「地下水ガバナンス等に関する調査・研究グループ」の活動に取り組み。
- ④ 「水循環における地下水の科学に関する調査・研究グループ」の活動を開始する。
- ⑤ 「地下水流動解析コード検証事例作成のための調査・研究グループ」の活動を継続し、地下水流動解析の信頼性向上に向けた解析コード検証のための事例集の作成、講習会開催に向けた活動を行う。
- ⑥ 「降雨浸透過程モデリングに関する研究委員会」の活動を開始する。

2. 受託事業

受託事業を実施する場合に、実施状況の把握および運営管理を行う。

3. 助成事業

地下水研究に携わる若手研究者が独創的な着想に基づいて主体的に行う研究を奨励、地下水分野のさらなる活性化のため、研究助成金の交付を行う。

4. その他

地下水学会として継続的に取り組むべきテーマ・課題等の抽出および調査・研究委員会の活動について議論し、実施可能なものから順次、推進する。

[公4]：地下水に関する相談事業

HP「市民コミュニケーション委員会」上で「地下水ブックガイド」を掲載する等の情報発信、質問の受付と回答を行う。

[他1] 表彰関連

- ① 学会表彰規則に則り、若手優秀講演賞を決定する。
- ② 学会施行細則に則り、名誉会員候補者を決定する。

[共通]

1. 国内関連団体交流

- ① 外部機関との協力体制のあり方の検討・企画を行う。
- ② IAH-JAPANの事務局を当学会内におき、その事務業務の一部を行う。
- ③ 地球惑星科学連合の各種委員会へ委員を派遣する。
- ④ 地球惑星科学連合大会において、セッション提案を行う。
- ⑤ HRL誌運営委員会に委員を派遣する。
- ⑥ HRL誌の編集委員会に編集幹事、編集委員を派遣する。
- ⑦ NGWAとの協定を継続する。

2. 学会情報普及に関する活動

- ① 学会員を含む広く一般の方々を対象に、ホームページを通じて学会活動の最新情報の発信に努める。
- ② 学会員を対象としたメールニュースによる情報発信を強化する。
- ③ インターネットを通じた学会運営の強化を図る。
- ④ 英文ホームページの運用拡大を行う。
- ⑤ ソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用した学会情報発信の運用を開始する。
- ⑥ 自治体との意見交換会を開催し、地域の取り組みや課題を把握するとともに、学会誌を通して情報発信する試行的な試みを継続する。

3. 会計関係

- ① 公益目的事業毎の会計体系内で、収支相償、公益目的事業比率50%以上の確保、遊休財産額の保有制限等の認定条件を維持するよう運営・管理する。
- ② 会員の増強を図るとともに、未納会費の徴収、経費の節減に取り組む。

4. 男女共同参画に関する活動

- ① さらなる若手活動および男女共同参画の支援策について、年間を通じ具体案を議論する。
- ② 「2018年度 若手地下水研究助成」事業のための募集および選考活動を実施する。
- ③ 「若手交流会」「若手セミナー」など若手支援の行事を、春季講演会・秋季講演会時に開催する。なお、企画・運営は若手会が主体的に行う。
- ④ 若手支援・男女共同参画(YEPS)委員会のホームページの充実を図る。
- ⑤ 春季・秋季講演会の会期中における子供の保育を必要とする学会員への補助について、具体的な事業内容を検討し、実施する。

5. 技術継続教育に関する活動

- ① ジオ・スクーリングネット、JABEE等への参加、活動を行う。
- ② ジオ・スクーリングネットのシステムを通じて、会員のCPD登録に対応する。

6. その他

公益法人としての円滑な学会運営を図るため引き続き総務及び事務局機能の強化を図る。

以上

公益社団法人 日本地下水学会 2018年度収支予算書

事業名	公益目的事業等会計						公益目的外事業会計		法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公共	合計	その他1	合計		
	雑誌発行, 定期講演会 開催	講習会, シ ンポジウ ム, 見学会	技術開発, 研究	相談事業	表彰					
事業収益（収入）										
会費収入	0	0	0	0	3,137,000	3,137,000	0	0	3,137,000	6,274,000
参加費収入	1,610,000	1,925,000	0	0	0	3,535,000	0	0	0	3,535,000
広告費収入	435,000	0	0	0	0	435,000	0	0	0	435,000
販売費収入	1,930,000	0	0	0	0	1,930,000	0	0	0	1,930,000
受取寄付金	200,000	0	500,000	0	285,000	985,000	0	0	285,000	1,270,000
受託費用	0	0	2,500,000	0	0	2,500,000	0	0	0	2,500,000
雑収益	90,000	0	0	0	0	90,000	0	0	5,000	95,000
合計	4,265,000	1,925,000	3,000,000	0	3,422,000	12,612,000	0	0	3,427,000	16,039,000
事業費（支出）										
給料	320,000	160,000	1,360,000	80,000	0	1,920,000	32,000	32,000	608,000	2,560,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000
臨時雇賃金	188,000	0	0	0	0	188,000	0	0	40,000	228,000
会議費	820,000	50,000	10,000	6,000	0	886,000	0	0	40,000	926,000
旅費交通費	720,600	767,300	883,250	108,650	0	2,479,800	19,460	19,460	369,740	2,869,000
通信運搬費	305,000	14,000	0	0	0	319,000	0	0	330,000	649,000
減価償却費	15,000	7,500	18,750	3,750	0	45,000	1,500	1,500	28,500	75,000
消耗什器備品費	0	2,000	0	0	0	2,000	0	0	30,000	32,000
消耗品費	13,000	0	0	0	0	13,000	2,000	2,000	46,000	61,000
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	3,320,000	540,000	90,000	8,000	0	3,958,000	40,000	40,000	0	3,998,000
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	13,000	6,500	16,250	3,250	0	39,000	1,300	1,300	24,700	65,000
賃借料	740,000	360,000	350,000	70,000	0	1,520,000	28,000	28,000	532,000	2,080,000
保険料	10,000	4,100	0	0	0	14,100	0	0	0	14,100
諸謝金	0	550,000	410,000	0	0	960,000	0	0	0	960,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	311,000	311,000
支払助成金	0	0	500,000	0	0	500,000	0	0	0	500,000
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	445,000	90,000	0	0	0	535,000	0	0	109,080	644,080
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	5,000	4,000	0	0	0	9,000	0	0	6,000	15,000
雑費	0	12,000	0	0	0	12,000	0	0	19,820	31,820
合計	6,914,600	2,567,400	3,638,250	279,650	0	13,399,900	124,260	124,260	2,514,840	16,039,000
収支	-2,649,600	-642,400	-638,250	-279,650	3,422,000	-787,900	-124,260	-124,260	912,160	0